

第2学年 特別活動 学習指導案

日 時：令和6年11月8日（金）

場 所：2年1組教室

1. 題材名「よりよい学級生活を作ろう」

（ア 学級や学校における生活上の諸課題の解決）

2. 学級活動（1－ア）で育成をめざす資質・能力

- ・学級生活の充実と向上のための集団活動の意義や、活動を行う上で必要になることを理解し、合意形成のための手順や方法を身に付ける。
- ・学級の生活をよりよくするための課題を見だし、課題解決のために話し合い、合意形成を図り、協働して実践できる。
- ・学級生活の充実と向上に向けて、学級の一員としての自覚と役割意識をもち、ほかの生徒と協力して、自主的、実践的に活動に取り組もうとする。

3. 題材設定の理由

【生徒観】

個人情報保護のため省略

【題材観】

本題材「よりよい学級生活を作ろう」は、学級の課題に目を向け、自分たちで改善を図ろうとする自治的な活動である。2年生にとって、体育祭や各委員会では3年生が自分たちの思いを声にし、形にしながら学校を動かす姿を間近で見てきたこの時期は、生徒会活動への憧れを抱く時期でもある。どんな3年生になりたいのかを少しずつ具体的にイメージしながら、まずは学級の中で自治的な活動を実践し、自分たちに必要な力をつけていくことのできる題材だと考える。

修学旅行で主体性や自信が育ちつつある2年生にとって、学級での課題の気づき、その課題についての話し合い、解決のための実践、振り返りというサイクルをくり返すことで、よりよい学級生活づくりに主体的に参画する意欲や、他者と協働する力をさらに高めることのできる題材である。

【指導観】

本題材を通して、生徒自身が試行錯誤しながら、自分たちのゴールや方法を、自分たちで見つけたという実感や手ごたえを味わわせたい。途中でうまくいかないことも経験しながら、生徒たち自身がその原因に気づき、改善できるようにしたい。そのために、特に次の2点を大切にしながら指導していく。

1点目は、生徒にとって話合う必要感のある議題になっているかという点である。生徒自身が自分たちの実態に目を向けて問題に気づき、自分事として改善したいという思いから議題を設定できるように進めていく。生徒たちにとって必要感のある議題であることが、生徒の意欲を引き出し、全員の参画意識を高めるだろう。さらに、話合い活動が停滞した場合には、生徒が立ち返ることのできる指針となると考える。

2点目は合意形成ができているかという点である。生徒たちはまだ自分の気持ちや思いだけで発言してしまうことも多い。また、一つの考えに決める・選ぶという経験が多く、考えを合わせて新しい考えを作り出すような経験は少ない。この題材を通して、提案されたすべての意見を尊重したうえで、他者の意見を参考にして多面的に考えたり、メリット・デメリットを整理して考えたりしながら考えを深め、よりよいものを作り出すための合意形成の仕方を身につけさせたい。また、「全員のことを考えているか」「多様な視点に立っているか」を意識して話合いが深まるように、授業者はアドバイスをしようと考えている。

4. 学級活動の評価規準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	学級生活の充実と向上のための集団活動の意義や活動を行う上で必要なことを理解している。 合意形成のための手順や方法を身に付けている。	学級の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決のために話合い、合意形成を図り、協働して実践している。	学級生活の充実と向上に向けて学級の一員としての自覚と役割意識をもち、ほかの生徒と協力して、自主的、実践的に活動に取り組もうとしている。

5. 指導と評価の計画

時間	○ねらい ・学習活動	めざす生徒の姿		
		知・技	思・判・表現	主体的な態度
放課後	○計画委員会で話合いの準備をする。(提案理由・めあて・話合うことの確認)			
学級活動	○学級集団について考えよう ・学級の成長と課題について話合う	学級の成長したことと現状を理解している。	学級の課題を解決するための方法を考えている。	
学級活動(本時)	○よりよい学級生活を作ろう ・学級の課題を解決し、よりよい学級生活を作る方法を話合う。		学級の課題解決の方法を合意形成しながら考えている。	学級の一員として、多様な意見を生かし、協力しながら積極的に学級生活の充実と向上を図ろうとしている。
学級生活	「よりよい学級を作るための実践活動」2学期中			
学級活動	「ふり返り」 2学期末	仲間とともに、よりよい学級を作ることの大切さを理解している。	仲間と協力し主体的に取り組んだことを通して、これから学級のために自分ができることを考えている。	学級での取り組みをふり返り、自己の成長に気づき、よさを伸ばそうとしている。

6. 本時について

(1) 議題「よりよい学級生活を作ろう」

(ア 学級や学校における生活上の諸課題の解決)

(2) めざす生徒の姿

○学級生活をよりよくするための課題を把握し、その解決に向けてお互いに意見を出し合い、合意形成を図る。

○学級の一員としての自覚をもち、積極的に課題を解決しようとする態度を養う。

(3) 本時の展開

	生徒の活動	★評価 ・指導上の留意点
導入 5	<p>1. 議題などの確認 議題 「みんなが気づいて発信するためには、どうしたらよいか」を確認する。</p> <p>○学級の課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から意見を言えない ・周りに頼りすぎている ・遠慮しすぎている ・流されている ・自信がない </div> <p>○提案理由や活動内容の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○中学校生活の後半戦に向かって、学級の課題を解決し、さらに学級集団の力を高めていきたい。</p> <p>提案理由 中学校生活の前半を終え、私たち2年生は行動力や積極性を伸ばし、仲間としてのつながりも高めあってきました。しかし、今の2年生は気づいても発信できていないことがあります。どうしたらできるようになるかを話合うことで、お互いが発言しやすい環境をつくることができると思ったので、「みんなが気づいて発信するためには、どうしたらよいか」について、提案します。</p> </div>	<p>○計画委員は、次のことを意識して説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行などを通して成長したことを盛り込んで、実態と課題、提案理由を具体的に説明する。 ・具体的な解決方法となるよう、「誰が、いつ、どこで、何を、どのように」という視点で考えるようにする。 ・課題が解決したかどうかをお互いに評価しやすい方法を考えるよう、「誰が、いつ、どうだったから、解決した(しなかった)か」という視点で考えるようにする。 ・課題(めざす姿)はホワイトボードにまとめ、可視化しておく。

<p>展開</p> <p>40</p>	<p>2. 話し合い活動 課題を解決するための方法を考えよう</p> <p>柱1「できている場面とできていない場面を考えよう」</p> <p>出し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由から事前に考えてきた考えを具体的に出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>予想される反応</p> <p>○できている場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を連絡する場面 ・席替えなど自分たちで計画・運営している場面 ・修学旅行でリーダーからの連絡の場面 ・いなかった友達に連絡する場面 <p>○できていない場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を連絡する場面 ・グループ活動で自分の考えを言う場面 ・話し合いの場面 ・授業中に発言する場面 </div> <p>柱2「どうやったらみんなが気づいて発信することができるかを話し合おう」</p> <p>出し合う・比べ合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出し合った意見について、課題や提案理由にそって意見交換をする。 ・提案を修正したり、よりよいものに練り上げたりするために質疑する。 ・司会者が調整役をしながら、十分に議論を交わし、合意形成に向けて練り合う。 	<p>出し合う場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の意見を尊重するために、グループで思考する時間も活用する。 ・見通しをもって話し合いに参加するために、話し合いの予定を伝え、事前に案を考えてくる。 <p>比べ合う場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案理由に沿って、論点を分類・整理しながら話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・意見のつながりを整理しながら考えているか。 ・多様な視点から考えているか。 ・互いに評価しあえるか。 ○司会者が進行に困ったら計画委員で相談しながら進める。 ○教師のアドバイスの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・深まりや広がりには欠けるときは、立場や次の視点（見方、考え方）をもとに助言する。 <p>「誰のためになっているのか」</p> <p>「めざす姿にむかっているか」</p>
---------------------	---	--

	<p>予想される反応</p> <p>○雰囲気・環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思いを聞く ・ 困っていないか聞く ・ 声がけ ・ たくさん話す ・ あいさつ <p>○チャンス・場面づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員がリーダー・企画・運営をする。 ・ イベント <p>○工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝終礼の対話の時間 ・ 学びの確認 <p>→誰が・いつ・どこで・何を・どのようにしたら、どうだったから、解決した（しなかった）</p> <p>まとめる</p> <p>「クラスでどのように取り組むかを決めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが納得のいく決め方になっているか、確認しながら合意形成を図る。 ・ 実践する優先順位をつける。 <p>次の予定を伝える</p> <p>具体的にどのように実行していくのかを考えて実行していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個の意見に固執しすぎる場合は、周囲の表情や様子が見えているかについて助言する。 <p>★学級の一員としての自覚をもち、積極的に課題を解決しようとしている。【主体的な態度】〈観察〉</p> <p>まとめる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級としての優先順位を考えて合意形成を図るようにする。 ・ 折り合いをつけて合意形成を図ることができるように、必要に応じて自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えることも大切であることを助言する。 <p>★課題解決に向けて意見を出し合い、合意形成を図っている。【思考・判断・表現】〈発言・観察〉</p>
<p>終末 5</p>	<p>3. ふり返り</p> <p>○話合いの感想を書く</p> <p>○感想の発表</p> <p>○教師の話</p>	<p>○ねらいに沿った話合いができたかを振り返らせる。</p> <p>○発表を通して振り返りを共有する。</p> <p>○合意形成したことへの価値付けや称賛、今後の課題、計画委員へのねぎらい、今後の見通しや実践へ向けての意欲などについて、簡潔に述べる。</p>

7. 研究の視点

- ・ 本時の学習はめざす生徒の姿にせまるものであったか。
- ・ 教師の関わり方は適切だったか。